

なのかつたら

たかみや



■旺波
夏休み、恐竜展へ行くため
母の知り合いの家に
泊まりにやってきた。
怪我を機にサッカーを
やめた。
同室になった隆竜の横で
していた日課のオナニーを
見られてしまう。

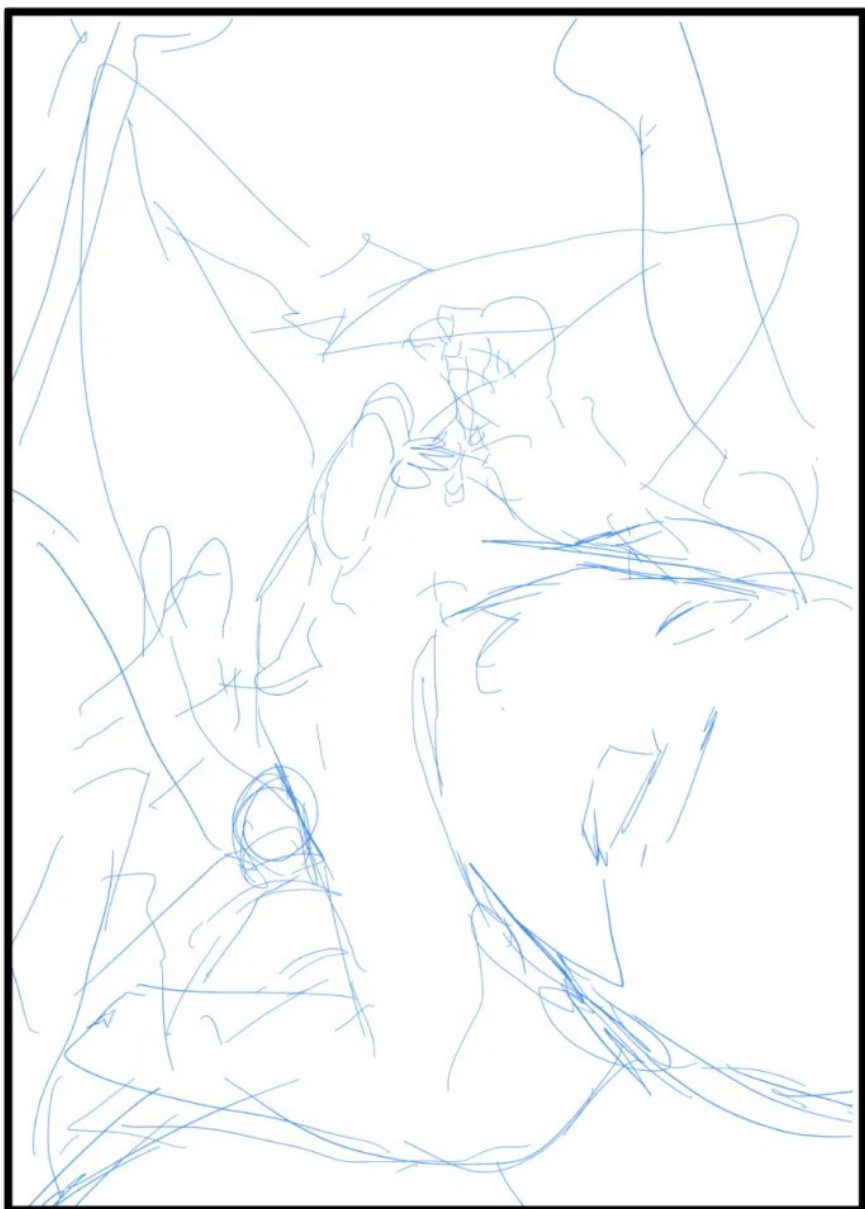
■隆竜
急にやめてきて部屋を
共有する事になった旺波に
最初は反感を抱くが共通の
サッカーという趣味を通じて心を開く。
怪我以来ボールを触れていなかった
旺波に自分という間だけでも
楽しんでほしいと伝える。
旺波の手コキにハマる。精液が濃く
普段はあまり飛ばないのを
少し気にしている。

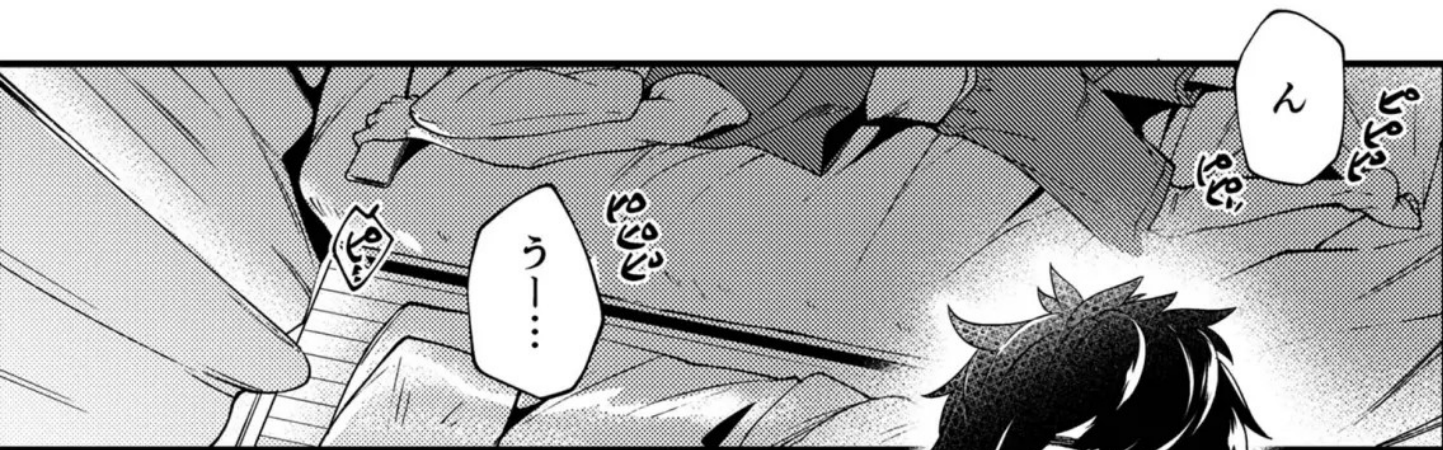








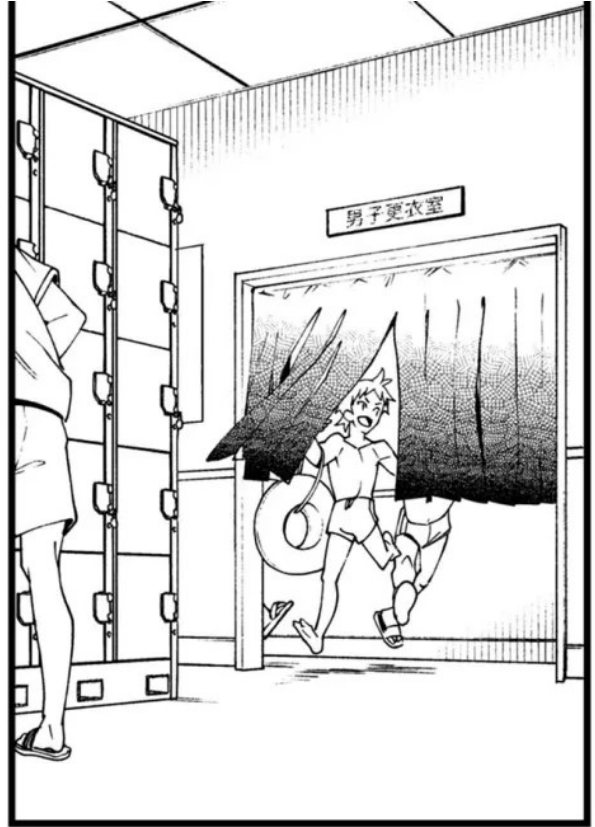














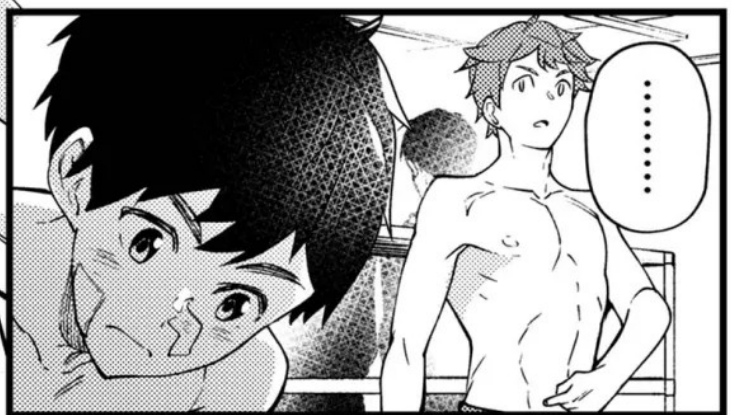


剥がれて
んぞ

えっへへ、
紐締めたら
大丈夫そう



うん



.....

ばい菌入って
傷残ったら
困るだろ



隆竜

うえッ

な、
なに...

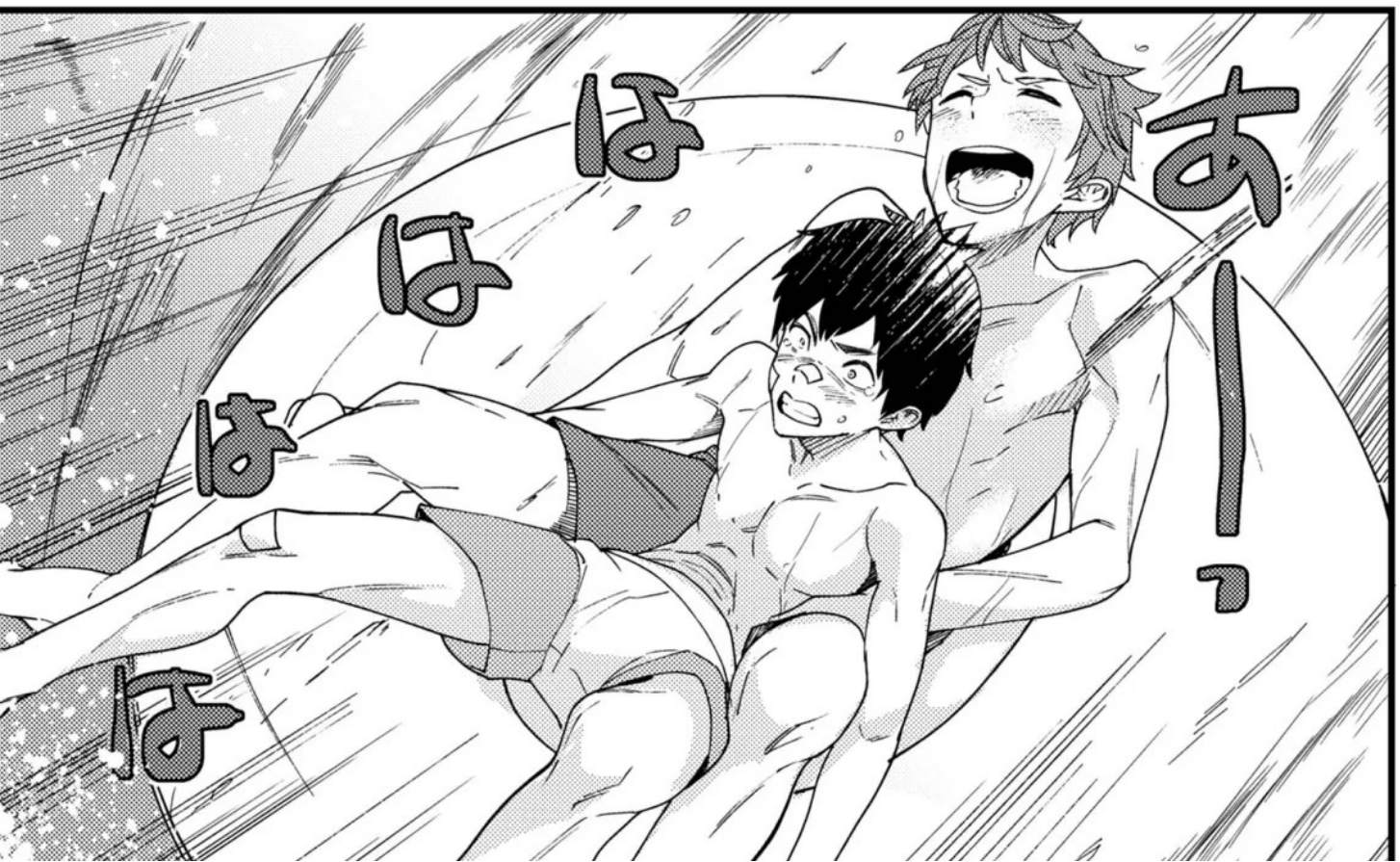
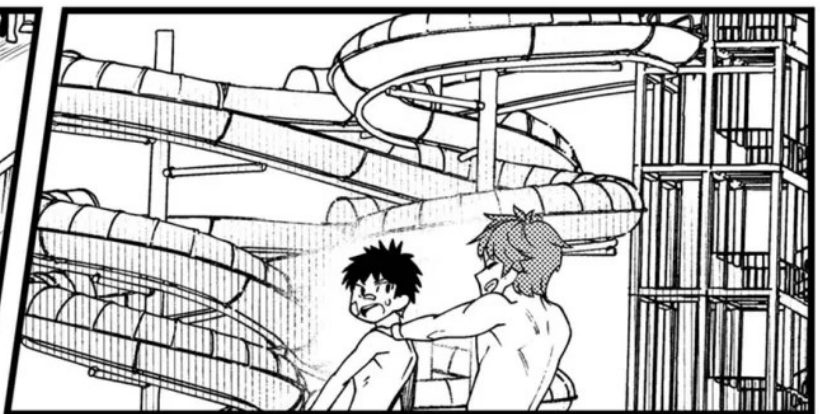
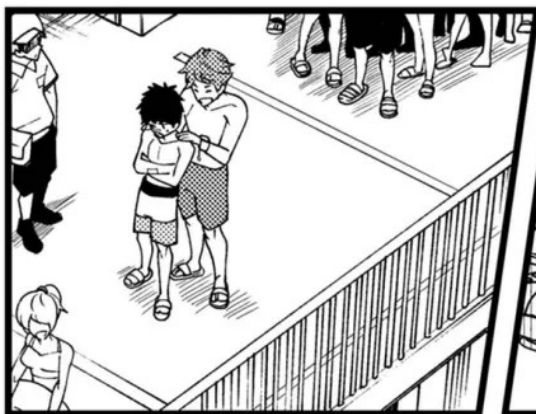


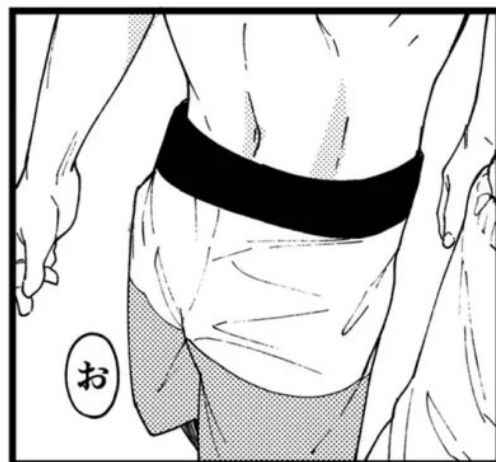


ガキかよ！

おい、ちよ…
引っ張んな！

ほらほら
次いくぜ、
全部回るからな！









ちよっと?

えーじゃあ
めっちゃ!

ありがと



ていうかさー

お兄さん
ちよっと
カッコイイ!



普通だよな

うん
フツ

男子はよく
ゲーム
してるよね

あと嫌いな
科目とか?

嫌いな
科目って



ヤダー
カワイーッ

あー

うは



触っても
いい?

いいよ



お兄さん...

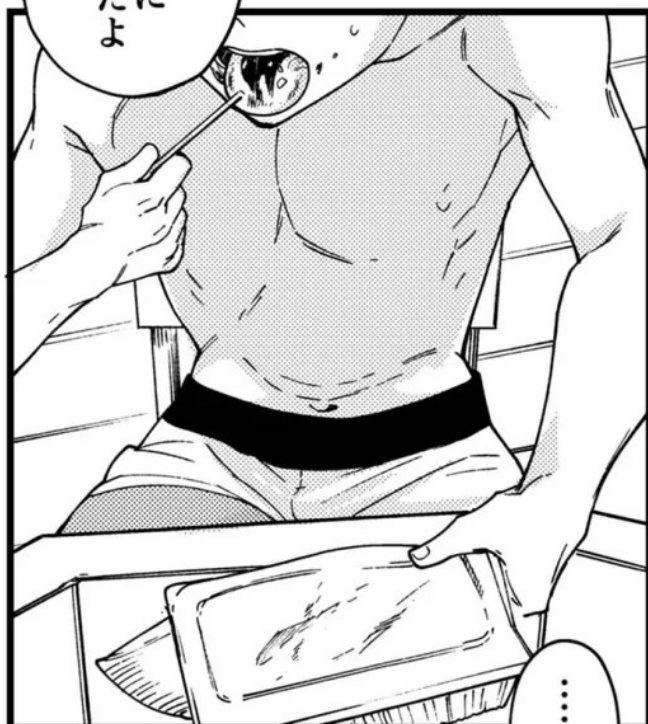
旺波
だよ

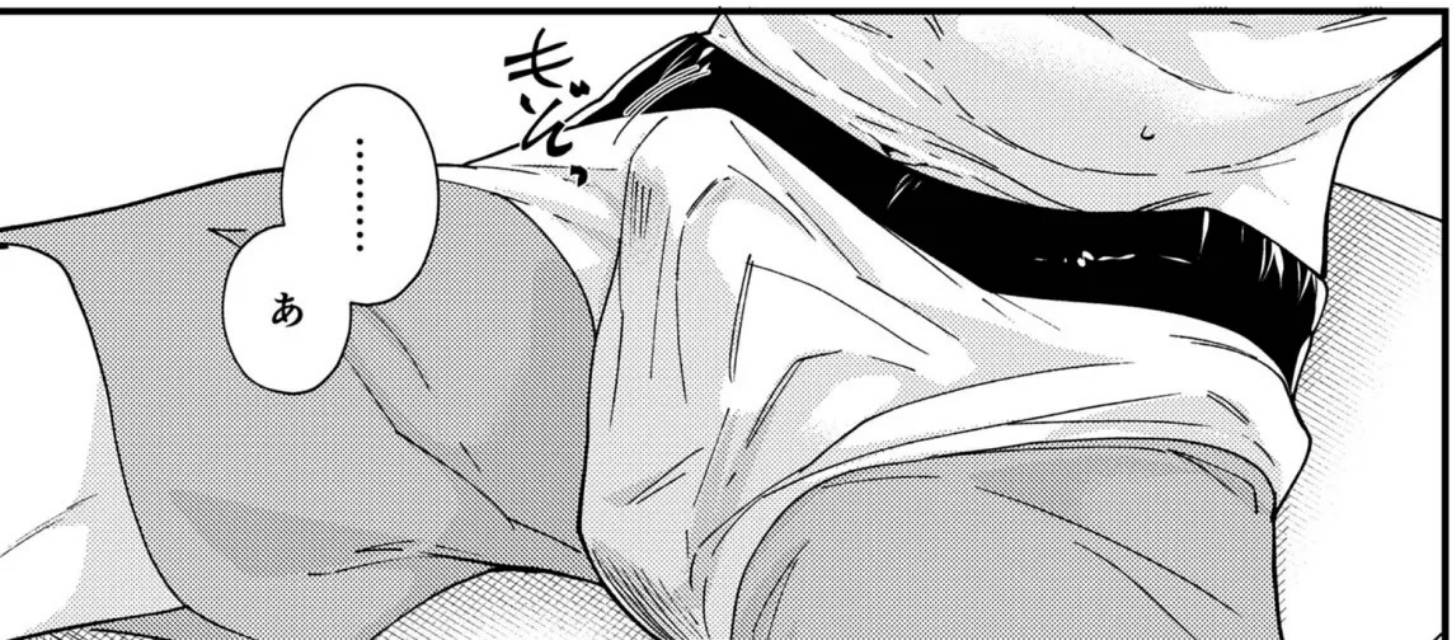
おうは君
腹筋
凄くない?



かたーい



















本当になれたら
すげーよな



誰もまだ知らない恐竜が
本当に地球に生きてた
って証拠を
俺が見つけんだぞ

どうやって生まれたか
どうやって生きたのか
一日恐竜の事だけ
考えて生きるんだ

ワクワクするだろ









明日の夜
帰るんだろ…

うん

深夜バス予約
してるからな
最後にアレ
やっつく?



あーでも
お前屋
妻かったよな

スゲー興奮
してただろ
めちゃくちや
ハラハラ
したからなー



もう
出ない?

…さっ
最後ならさ



?

セックス
したい…





ヘッ
セツ



ツツックス
ってお前
意味分かって
言ってるのか

わ……っ
かってるよ
そのくらい！

なら軽々しく
言うな！

そういう事は
ちゃんと
好きなやつと
するもんだ！



ちゃんと
好きだから
言ってるんだよ！





俺はお前と
そういう事
するのは基本
的に
良くない事
だと思っ
たよ



一線、って
いうか……

それはちゃんと
気持ちを通じ
あつた人たちで
する事だから
思い出とか、
記念とかで
持つちゃいけ
ない
関係だと思
う



ましてや
隆竜は
年下だ

年上の俺が
引くべき線は
引かないとな



……隆竜は男が
好きなの？

ちがっ

……わ、
分かんない……

こんなの
初めてだし……









…これで
オレたち
恋人同士？



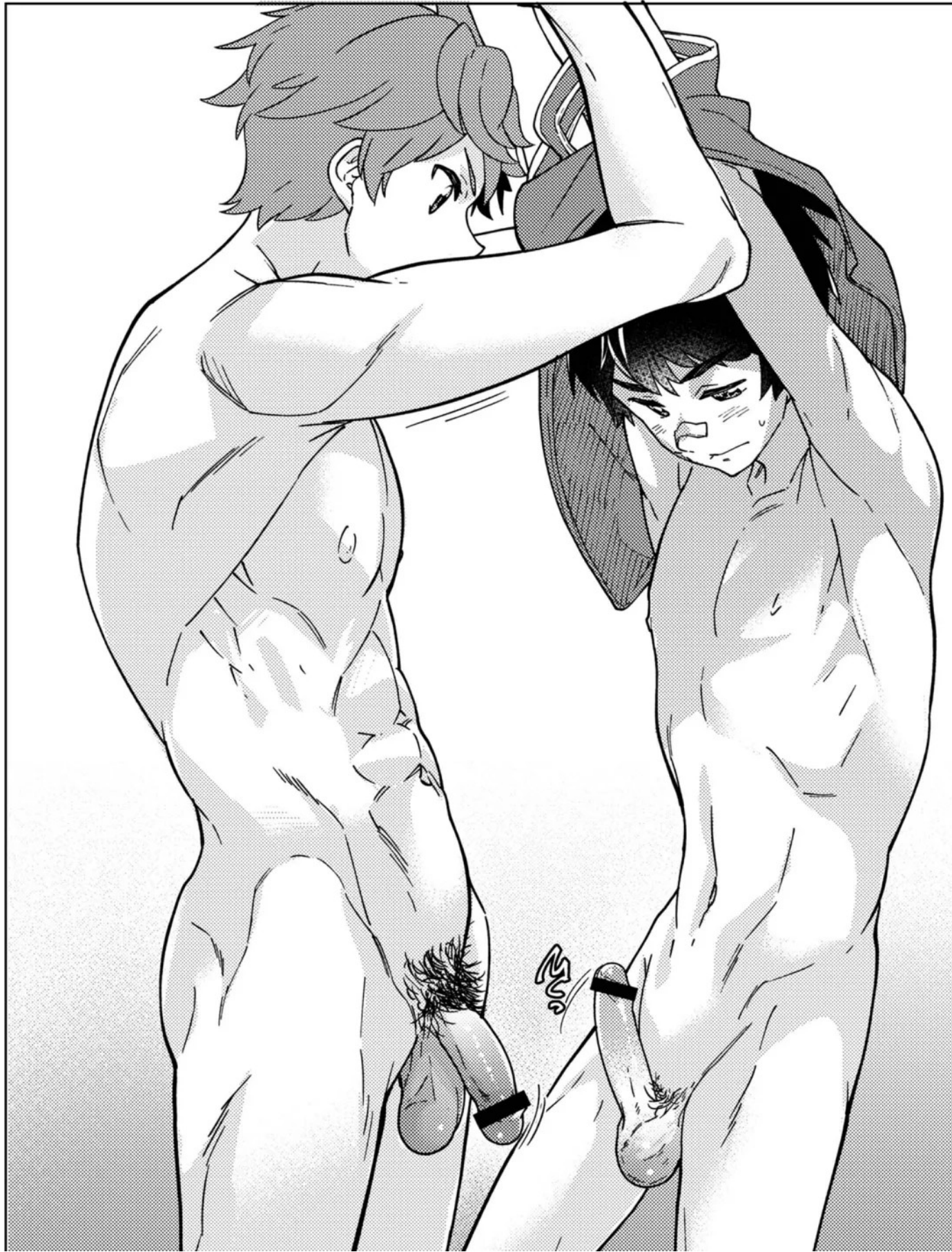
おーはっ！

うおっ

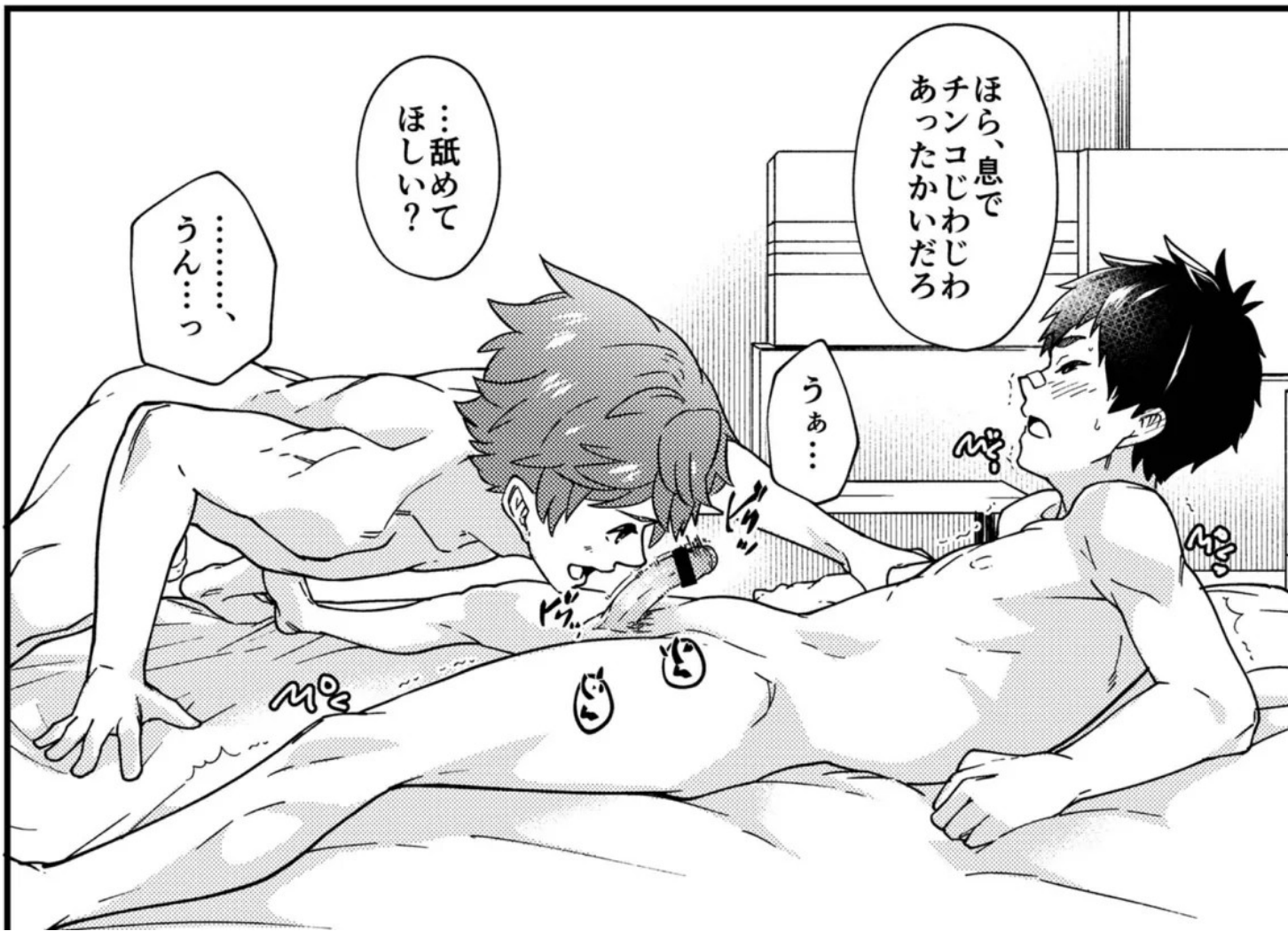


















は...

.....

なあ
隆竜

セックスって...



うあー...
きもち...



尻の穴で
するんだよな、
男同士だと...

その、俺が
お前に...

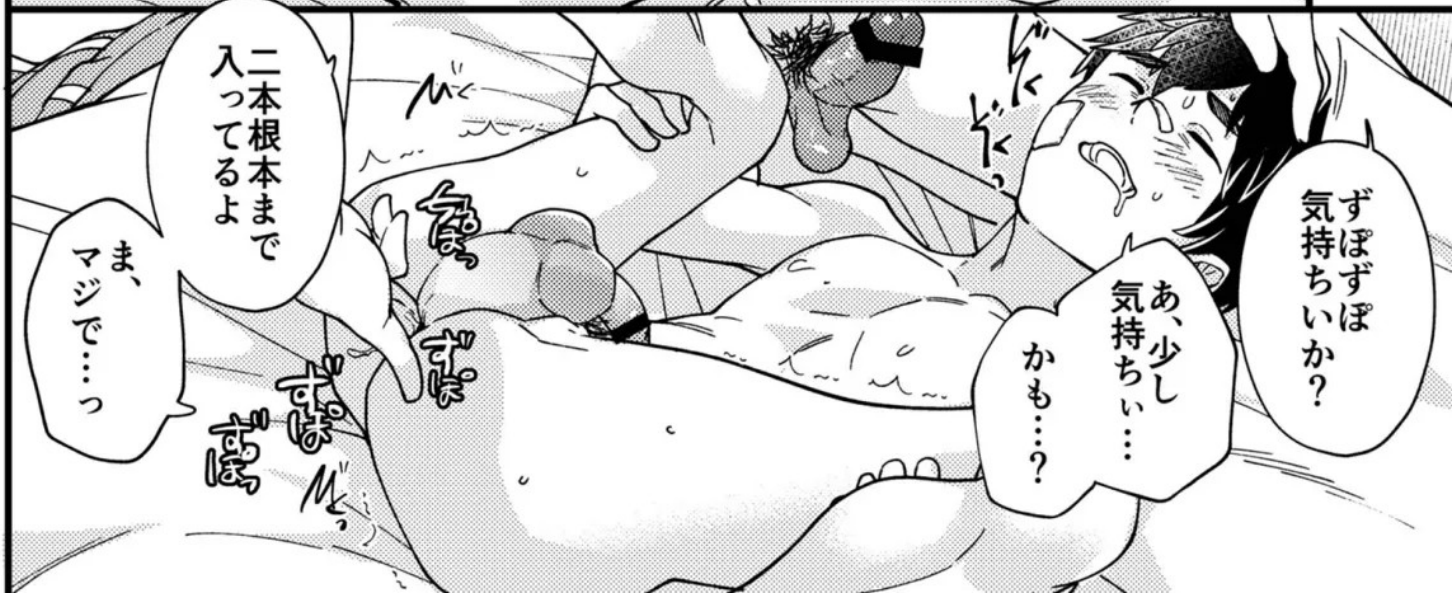
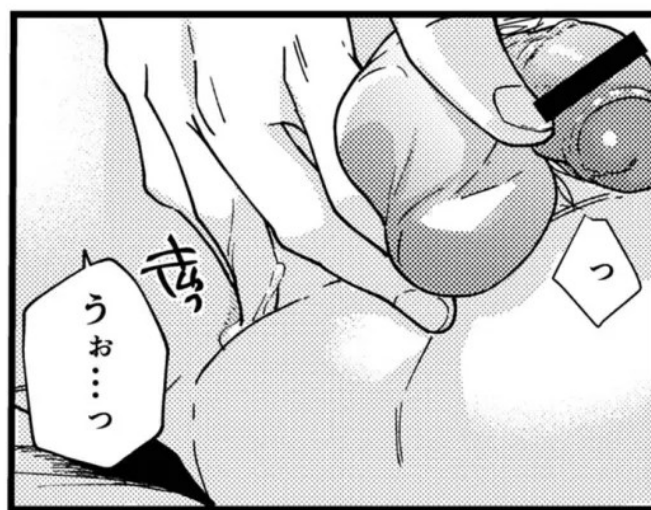
うん...



はあっ
はあ...

めっちゃくちや
気持ちいい...

フェラ
すごい...





後ろ向いて
四つん這いに

そう…



……
俺のチンコにも
精液塗るか

え、エロい
音する…

うん
エロい

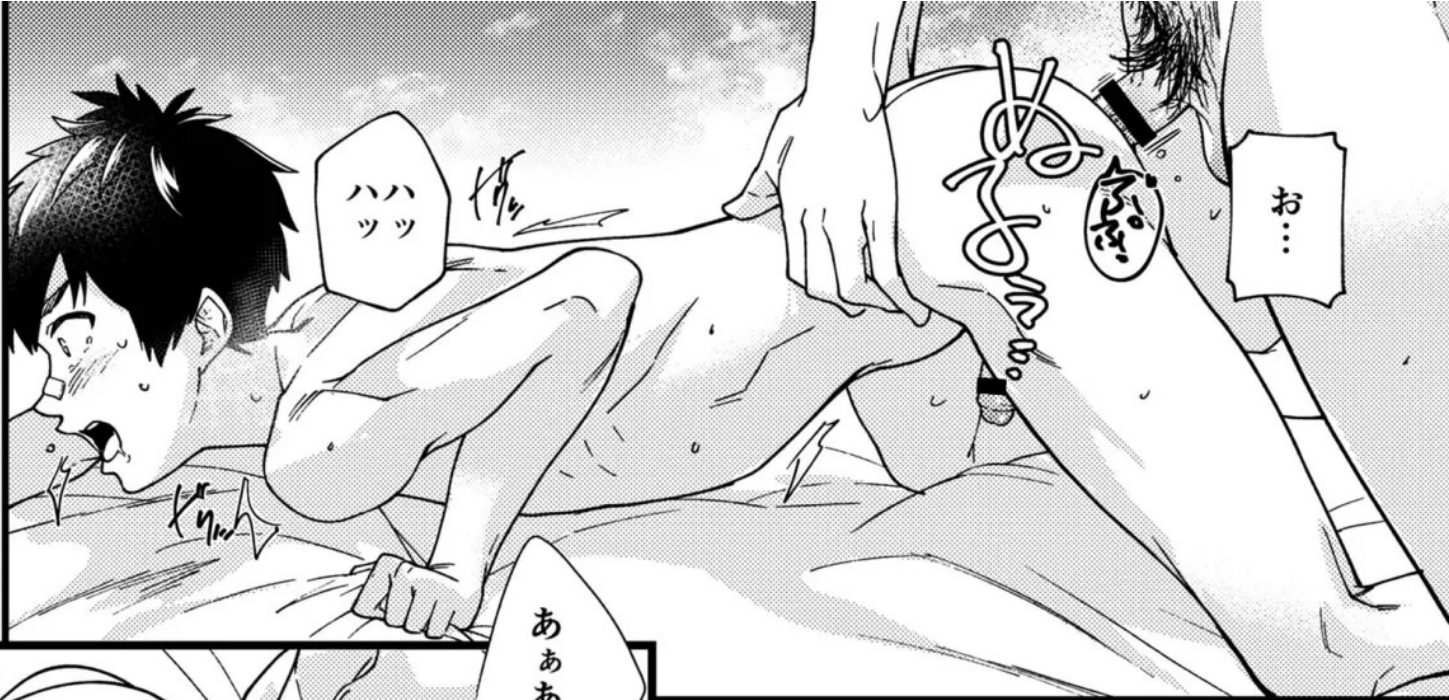


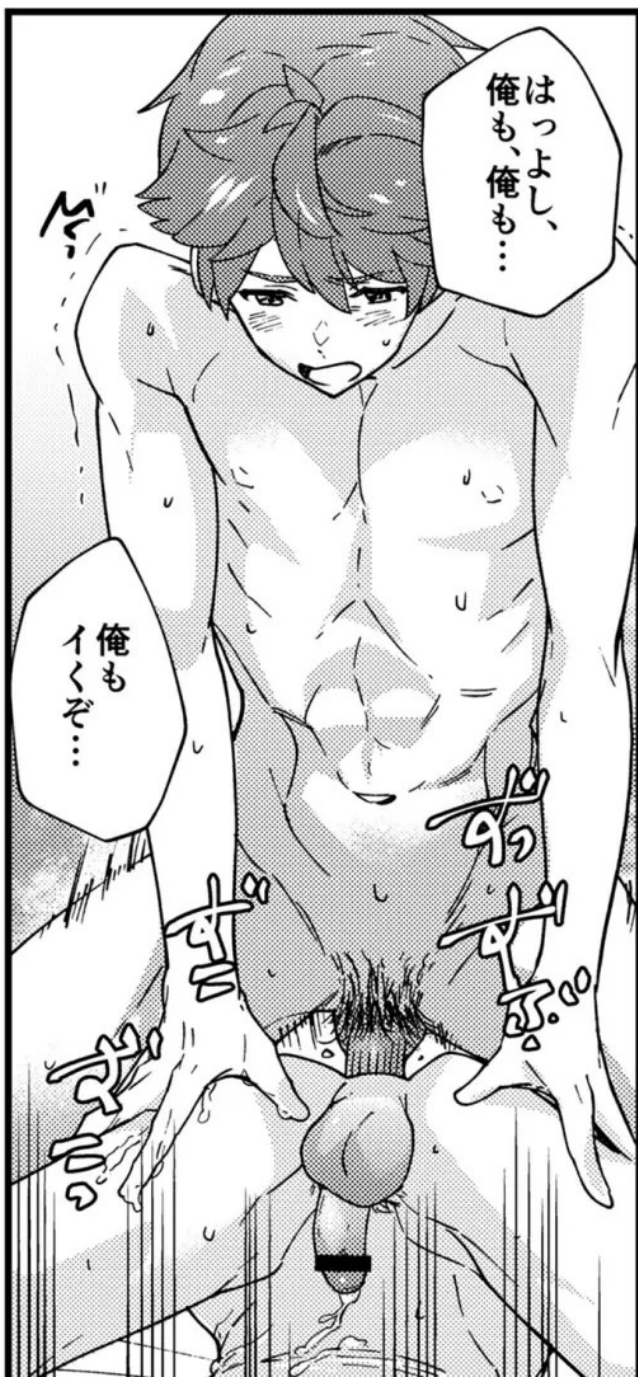
ゆっくり
挿入れて
みよう

ん…



















最後の
思い出

へ
へ

ばっはっ
かッはっ



お前っ

人っ

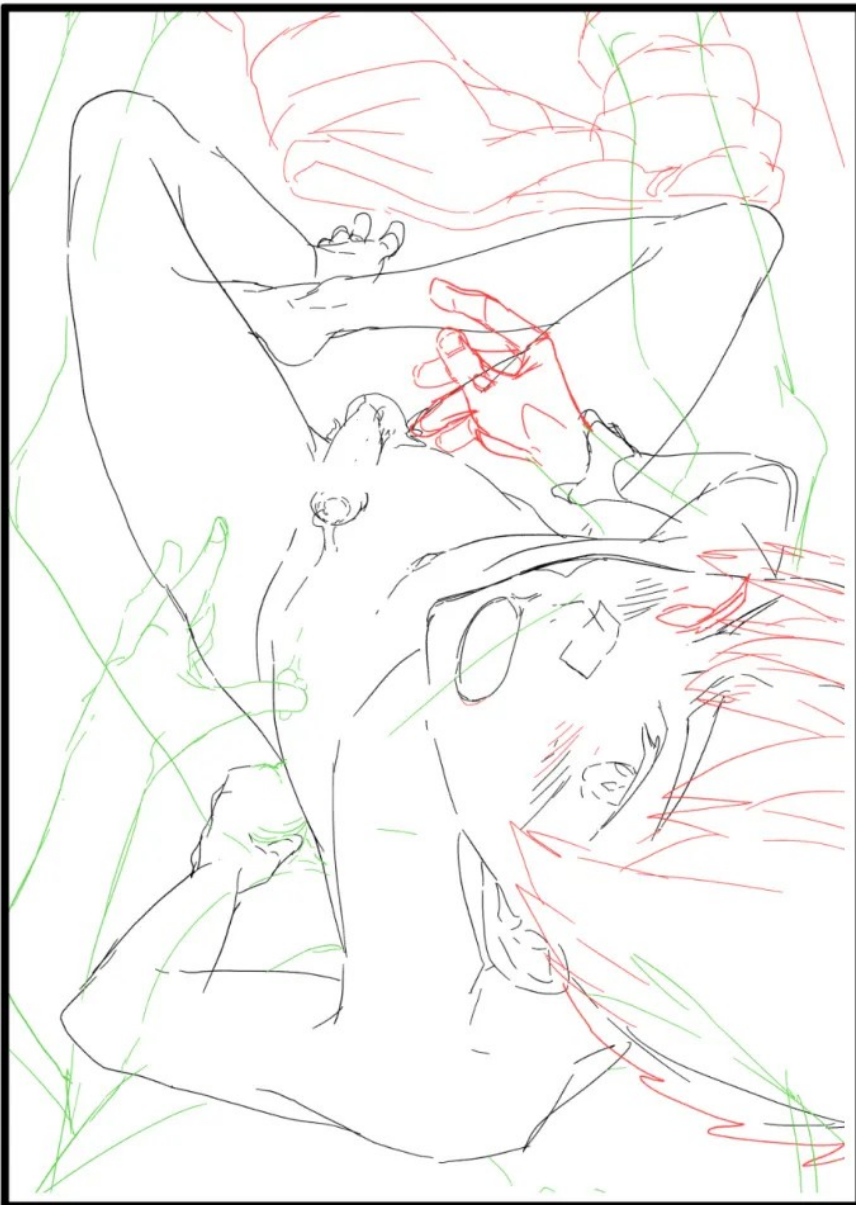
人見てた!

いーじゃん
別に

やましい事は
ないだろ

そ

そうだけどさ...



あとかいさ

たかみやです。
この度は『なのかたったら』のDL誠にありがとうございます！

ツンツンしていた頃の影は微塵もなく終始デレデレドキドキ
しっぱなしという感じになってしまった隆竜くんでした。

ドキドキといってもセックスしよう発言をする前までは
どちらかというと好きという意識より隣にずっといたい、
にちかい感情かなと考えています。
といってもそれも無意識的な好きというか...考えたことが無かった
だけだと思いますが...

旺波くんは自分の感情について『あ～これは好きっぽいな...』と
感じつつもそれを言っちゃったらダメだろうなという感じで
居たかなと思ってます。

帰った後はテレビ電話で相互オナニー配信とかしてそうですね...

それではまた時間もありませんでしたらよろしくお願いします！

2020/02 たかみや





著：たかみや

URL:<http://rooty.blog24.fc2.com/>

mail:takamiya.hh@gmail.com

twitter:HHtakamiya

twitter



この漫画の転載、アップロードはご遠慮ください。